

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 9 月 26 日 (2013.9.26)

【公開番号】特開 2012-256600 (P2012-256600A)

【公開日】平成 24 年 12 月 27 日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2012-055

【出願番号】特願 2012-163161 (P2012-163161)

【国際特許分類】

H 0 1 J 5/50 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

H 0 1 J 61/52 (2006.01)

F 2 1 Y 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 5/50 G

H 0 1 L 21/30 5 2 7

G 0 3 F 7/20 5 0 1

F 2 1 S 2/00 3 1 2

F 2 1 S 2/00 3 7 7

H 0 1 J 61/52 B

F 2 1 Y 101:00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 25 日 (2013.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光部を備え、第 1 方向に伸びるように形成されたガラス部材と、前記ガラス部材に一端部が連結される口金部材とを有し、冷却装置を備えた取付装置に前記口金部材を介して着脱可能に取り付けられる放電ランプであって、

前記口金部材は、

前記取付装置に対して前記第 1 方向における位置を規定するために、前記第 1 方向と直交する方向に突出するように設けられた突出部と、

前記突出部と前記口金部材の他端部との間に設けられ、前記取付装置に対して前記第 1 方向と直交する方向における位置を規定する第 1 軸部と、

前記第 1 軸部と前記口金部材の他端部との間に設けられ、前記冷却装置からの冷却用媒体で冷却される第 2 軸部とを備えることを特徴とする放電ランプ。

【請求項 2】

前記第 1 軸部は、前記第 1 方向と直交する方向の外形形状が、前記突出部の外形形状より小さいことを特徴とする請求項 1 に記載の放電ランプ。

【請求項 3】

前記第 2 軸部は、前記第 1 方向と直交する方向の外形形状が、前記突出部及び前記第 1 軸部の外形形状より小さいことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の放電ランプ。

【請求項 4】

前記第 2 軸部は、前記第 1 方向に関する長さが前記第 1 軸部よりも長いことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の放電ランプ。

【請求項 5】

前記第 2 軸部は、前記第 1 方向に伸びる円柱形状で形成されることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の放電ランプ。

【請求項 6】

前記第 2 軸部の表面積は、前記第 1 軸部の表面積に比べて広いことを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載の放電ランプ。

【請求項 7】

前記第 2 軸部と前記口金部材の他端部との間に設けられ、前記第 1 方向と直交する方向の外形形状が、前記突出部、前記第 1 軸部及び前記第 2 軸部の外形形状より小さい第 3 軸部を有することを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載の放電ランプ。

【請求項 8】

前記第 3 軸部と前記口金部材の他端部との間に設けられ、前記第 1 方向と直交する方向の外形形状が、前記突出部及び前記第 1 軸部の外形形状より小さく、かつ前記第 2 軸部及び前記第 3 軸部より大きい第 4 軸部を有することを特徴とする請求項 7 に記載の放電ランプ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、発光部を備え、第 1 方向に伸びるように形成されたガラス部材と、前記ガラス部材に一端部が連結される口金部材とを有し、冷却装置を備えた取付装置に前記口金部材を介して着脱可能に取り付けられる放電ランプであって、前記口金部材は、前記取付装置に対して前記第 1 方向における位置を規定するために、前記第 1 方向と直交する方向に突出するように設けられた突出部と、前記突出部と前記口金部材の他端部との間に設けられ、前記取付装置に対して前記第 1 方向と直交する方向における位置を規定する第 1 軸部と、前記第 1 軸部と前記口金部材の他端部との間に設けられ、前記冷却装置からの冷却用媒体で冷却される第 2 軸部とを備える放電ランプが提供される。

なお、本明細書には以下の発明の態様も記載されている。

本発明の第 1 の態様による光源装置は、発光部を形成するガラス部材（25）と該ガラス部材に連結された口金部材（26）とを有する放電ランプ（1）と、その口金部材を介してその放電ランプを保持する保持部材（50，52）を有する保持装置（31）とを備えた光源装置であって、その放電ランプが備えるその口金部材は、その保持部材と当接してその保持部材に対するその発光部の第 1 方向における位置を規定する当接部（26a）と、その当接部をその第 1 方向に沿ってその保持部材に押圧する押圧力が付勢される被付勢部（26e～26h）と、その当接部とその被付勢部との間に備えられ、その保持部材と嵌合する嵌合部（26b）と、その嵌合部に備えられ、その当接部近傍からその被付勢部に至る冷却用媒体の流路をその保持部材との間で構成する溝部（26d）とを有し、その保持装置は、その保持部材と、その被付勢部にその押圧力を付勢する付勢部材（55A）と、その付勢部材によるその当接部のその保持部材への押圧と、該押圧の解除とを切り替える切替機構（63）と、その口金部材を冷却するための媒体をその溝部を介してその流路に供給する媒体供給装置（71）とを有するものである。